

広報 かわぐち

No.717



10
2008



特集

- 平成20年度 きらり川口ジュニア議会 ②
- 第7回ボランティア見本市・荒川ふれあいまつり2008 ④
- 第1回かわぐち音楽の日 アマチュア音楽祭2008 ⑥
- きらり川口商品券発売! ⑦
- 10月は3R推進月間です! ⑧
- 後期高齢者医療制度(長寿医療制度) ⑨
 - くらしの情報 ⑩
 - 施設の情報 ⑰
 - スポーツ情報 ⑳
 - 健康ひろば ㉔
 - マイシティ・かわぐち ㉓

昭和39年(1964)の東京オリンピック。川口鑄物の威信を賭け、その聖火台づくりを請け負ったのが、鑄物師の鈴木萬之助・文吾さん親子でした。しかし湯入れ(溶かした鉄を型に注ぐこと)作業で失敗。父・萬之助さんはそのまま床につき帰らぬ人に。その後、文吾さんが不眠不休で型からつくり直し、ついに聖火台が完成。鑄造者の名には「鈴木萬之助」と刻み込みました。その文吾さんも、今年7月に86歳で他界されました。最初につくられた聖火台は修復され、市内のスポーツ拠点である青木町公園内に設置。いまでもアスリートたちを見守り続けています。

(案内図は裏表紙)

我がまち川口・再発見 ⑱
聖火台 (青木町公園総合運動場)